

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



HGM021-05

会場:301A

時間:5月25日 15:15-15:30

## 阿武隈山地の削剥速度 Denudation rates of Abukuma mountains, Japan

松四 雄騎<sup>1\*</sup>, 牧野久識<sup>2</sup>, 松崎浩之<sup>2</sup>, 八反地剛<sup>3</sup>

Yuki Matsushi<sup>1\*</sup>, Hisashi Makino<sup>2</sup>, Hiroyuki Matsuzaki<sup>2</sup>, Tsuyoshi Hattanji<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 京都大学防災研究所, <sup>2</sup>MALT 東京大学, <sup>3</sup> 筑波大学 生命環境

<sup>1</sup>DPRI, Kyoto University, <sup>2</sup>MALT Univ., Tokyo, <sup>3</sup>Geoenviron. Univ., Tsukuba

阿武隈山地の花崗岩および花崗閃緑岩地域において、河川堆積物中の石英に含まれる宇宙線生成核種 Be-10 および Al-26 の濃度を分析し、千年スケールでの流域の平均削剥速度を求めた。削剥速度は、およそ 50-100 mm/kyr の値であり、花崗岩地域でやや大きい値であった。このことは岩質が長期的な削剥速度に影響していることを示している。また、全体として傾斜が大きい流域ほど削剥速度が小さくなるという、通常期待される対応関係と逆の相関を示した。こうしたデータは岩石の風化と侵食および地形との間に存在するフィードバック機構を探る糸口となるものと考えられる。

キーワード: 削剥速度, 宇宙線生成核種, 河川堆積物

Keywords: denudation rate, terrestrial cosmogenic nuclides, river sediment